

※【新】:新規事業
 【創】:しあわせ信州創造経費事業
 【地】:地域振興局長の要望・提案反映事業

事業名 [事業改善シート番号]	事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)			
◎ 学びの改革の推進				
1 幼児教育支援センター運営事業費 [150503] 	県内の全幼稚園・保育所・認定こども園で質の高い幼児教育を提供するため、幼児教育支援センターを設置し、関係機関との連携を深めるとともに、研修の充実等を図ります。 【創】 ・モデル園での園種を越えたフィールドワークの実践 【創】 ・幼稚園・保育所等における研修の相互乗り入れ 【創】 ・幼保小の接続カリキュラムの検討 *幼保小合同研修会の実施率:38.8%(2016年度)→50.0%(2022年度)			
教学指導課	H31予算	4,717	H30当初	1,170
2 中山間地域の新たな学びの創造事業費 [150503] 	少子化が進み、複式学級の増加が見込まれる中で、ICTの活用や異年齢集団による探究的な学びなど中山間地域での新しい学びのスタイルを創造します。 ・中山間地域リーディング・スクールでのカリキュラム開発 ・第68回全国へき地教育研究大会長野大会への助成 *少人数のよさを生かした学習のためのカリキュラムの開発(2019年度)			
教学指導課	H31予算	3,525	H30当初	3,003
3 自然教育・野外教育推進事業費 [150503]  	信州ならではの豊かな自然を教育資源と捉え、自然の中での体験を通じて、子どもたちの「たくましく生き抜く力」や「自然を大切に作る心」を育成します。 【新】 ・自然教育・野外教育プログラムの実践 【新】 ・モデル校への森林・野外活動インストラクターの派遣 *モデル的に自然教育プログラムを実施する学校:8校(2019年度) (森林づくり県民税基金活用事業)			
教学指導課	H31予算	1,163	H30当初	583
【新】【創】 4 県立高校「未来の学校」構築事業費 [150301] 	県立高校において、先進的・先端的な研究・実践に取り組むため、2018年度末に公表する研究校において研究開発計画を作成し、「未来の学校」実践校を指定します。 ・研究校による研究開発計画の作成 ・アドバイザーによる研究校への指導・助言 ・「未来の学校」実践校の指定 *実践校の指定:6校(2019年度)			
高校教育課	H31予算	1,734	H30当初	0

事業名 [事業改善シート番号]	事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)			
【創】 5 ICT環境整備事業費 [150502]  教学指導課	生徒一人ひとりに最適化された学びを実現し、2022年度から実施される高等学校の新学習指導要領に対応した効率的な授業展開や協働学習等を推進するため、県立高等学校のICT環境の整備を進めます。 ・県立高等学校24校にICT機器を整備 整備済:38校(2018年度)→62校(2019年度) *電子黒板(大型提示装置)整備台数:普通教室に各1台常設(2020年度)			
【創】 6 「海外での学び」推進事業費 [150501]  教学指導課	世界の様々な分野で活躍できるグローバル人材を育成するため、クラウドファンディング型寄付を活用するなど、「信州つばさプロジェクト」を進め、高校生の海外留学を支援します。 【拡】 ・県企画留学プログラムの実施 65人 1コース:20人(2018年度)→4コース:65人(2019年度) 【新】 ・個人の留学等への支援 100人 ・高校生が主体となって留学への機運醸成を図る取組の推進 *高校生の留学者数の割合:0.7%(2015年度)→1.4%(2022年度) (一部 ふるさと信州寄附金基金活用事業)			
7 特別支援学校改革事業費 [150401]、[150402]   特別支援教育課	障がいのある子どもの自立と社会参加を促進するため、児童生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばすとともに、地域社会、企業等とつながり、共生社会をリードする特別支援学校を実現します。 【新】 ・松本、若槻養護学校整備基本方針検討委員会の設置 【創】 ・カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)の作成 【新】 ・自立活動学習教材の整備、図書の充実 【創】 ・副学籍コーディネーターによる児童生徒の引率 【拡】 ・スポーツ選手、音楽家、芸術家等の外部専門家による授業を実施 *松本、若槻養護学校整備基本方針の策定(2020年度) *カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)の作成(2019年度)			
◎ 教員の資質向上と働き方改革				
【新】【創】 8 「学びの改革」フロンティア スピリッツ事業費 [150401]、[150503]  特別支援教育課 教学指導課	小・中・高等・特別支援学校の教員が、国内外の先進的・先端的な教育や企業等の現場から学ぶことにより、新たな知見や発想を得るとともに、教員の意識改革を推進します。 ・小・中・高等・特別支援学校教員の海外及び国内視察 *派遣教員数103名(2019年度)			

事業名 [事業改善シート番号]	事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)			
9 「チームとしての学校」 スクール・サポート・スタッフ 配置事業費 [150204]、[150402]  義務教育課 特別支援教育課	教員の業務負担軽減を図り、児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を構築するため、授業以外の諸業務を補助的に行うスクール・サポート・スタッフを一定規模以上の小・中学校及び特別支援学校に配置します。 【拡】 ・スクール・サポート・スタッフの配置 102校(2018年度)→121校(2019年度)			*教員1人当たりの1か月の平均時間外勤務時間の対前年度比(配置校): 【小・中学校】 △3%、 【特別支援学校】 △1.5%(2019年度)
	H31予算	88,189	H30当初	72,671
10 部活動指導員任用事業 補助金 [151001]  スポーツ課	中学校の部活動指導体制の充実と教員の負担軽減を図るため、公立中学校に部活動指導員を配置する費用の一部を補助します。 ・事業主体 市町村教育委員会 ・補助率 2/3 【拡】 ・部活動指導員配置数:109人(2018年度)→161人(2019年度)			*専門性を有する部活動顧問(指導員含む)の割合: 39.8%(2017年度)→45%(2019年度)
	H31予算	36,064	H30当初	24,416
◎ 悩みを抱える児童生徒への支援				
【創】 11 スクールカウンセラー事業費 [150701]  心の支援課	児童生徒が安心して学校生活を送り、学習に取り組める環境を整備するため、児童生徒の悩みに適切かつ迅速に対応できるスクールカウンセラー(公認心理士等)を配置します。 【拡】 ・スクールカウンセラーの配置 37,111時間(2018年度)→37,422時間(2019年度)			*これまで支援を受けられなかった子どもへの訪問支援:282時間(2019年度) *予約不要で相談を受けられる時間:980時間(2019年度)
	H31予算	170,952	H30当初	170,598
【創】 12 スクールソーシャルワーカー 活用事業費 [150701]  心の支援課	社会福祉や精神保健福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを新たに市町村教育委員会にも配置することにより、地域や専門機関等と連携して困難を抱える児童生徒を取り巻く環境を改善します。 【拡】 ・スクールソーシャルワーカーの配置 16,911時間(2018年度)→20,322時間(2019年度)			*スクールソーシャルワーカーを介した学校と地域関係機関との連携ケース: 1,218件(2017年度)→1,300件(2019年度) *スクールソーシャルワーカーの介入により一定の改善が図られたケースの割合: 61.9%(2017年度)→50.0%以上(2019年度) (一部 ふるさと信州寄附金基金活用事業)
	H31予算	93,728	H30当初	79,049

事業名 [事業改善シート番号]	事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)			
◎ 生涯学習の振興				
13 図書館改革事業費 [150802]  文化財・生涯学習課	多様な県民の学びを支える「地域の情報拠点」として、県立図書館を中心に、様々な情報を活かした新しい図書館づくりを推進します。 ・新たな学びの場「信州・学び創造ラボ」の本格運用の開始 ・関係機関が保有する信州に関する史資料情報等を横断検索ができる「信州・知の入口」ポータル構築・運用 ・「これからの図書館実現フォーラム」の開催 *「信州・学び創造ラボ」における利用者主催のワークショップの開催：12回(2019年度) (一部 県立長野図書館図書充実基金活用事業)			
	H31予算	33,332	H30当初	73,674
◎ 文化・スポーツの振興				
14 県立歴史館事業費 [150803]  文化財・生涯学習課	県立歴史館における「地域貢献型」の取組を推進するため、歴史を学ぶことから未来を考える地域活動の支援や地域活性化に生きる情報発信、地域課題を捉えた調査研究等に取り組むとともに、開館25周年記念企画展を開催します。 ・来館する機会が少ない地域で歴史の魅力を伝える出前講座の開催 【新】 ・開館25周年記念企画展の開催(国宝土偶、戦国小笠原三代) *県立歴史館利用者数:103,052人(2017年度)→110,000人(2019年度) (一部 文化振興基金活用事業)			
	H31予算	194,647	H30当初	245,477
15 第82回国体に向けた競技力向上対策事業費 [151003]  スポーツ課	2027年に本県で開催予定の第82回国民体育大会において、開催県にふさわしい成績を収めるため、選手強化や指導者養成等に取り組みます。 【拡】 ・2027年に主力となるジュニア層の発掘・育成・強化 【新】 ・若手指導者の養成 *天皇杯・皇后杯の順位:18位(2017年度)→10位(2022年度)			
	H31予算	200,000	H30当初	113,154
16 県立武道館建設事業費 [151002]  スポーツ課	県内の武道振興の中核的拠点となる県立武道館を建設します。 ・場 所 佐久市 ・施設規模 延床面積 11,600㎡ 建築面積 10,400㎡ ・開館時期 2020年3月(予定)			
	H31予算	4,941,193	H30当初	1,168,392
17 東京2020オリンピック聖火リレー準備事業費 [151002]  スポーツ課	東京2020オリンピック聖火リレーが、県内において着実、安全に実施できるよう準備を進めます。 ・運営計画の策定 ・ランナーの募集等 *聖火リレーの県内実施:2020年4月2日～3日(2日間)			
	H31予算	23,321	H30当初	377